



国土交通省

お知らせ

平成 21年12月16日

資料提供先: 島根県政記者会

「平成21年度ちゅうごく街道現地交流会 in松江」を開催します。

～日本風景街道、夢街道ルネサンスに関する講演や活動の報告～

中国地方整備局では、中国地方の豊かな歴史・文化・自然を活かし、地域が主体となって個性ある地域づくりや連携・交流さらには、地域の活性化を図ることを目的に「日本風景街道」及び「夢街道ルネサンス」の取り組みを実施しています。登録された各ルートの活動が今後も活発に展開できるように、各ルートの活動団体のメンバーによる現地交流会を下記のとおり開催します。

現地交流会においては、有識者の基調講演を始めとし、各団体の活動報告や活動における課題などに対する意見交換を実施することで、各ルートにおける活動の推進を目指します。

1. 開催日時 : 平成21年12月20日(日) 13:30～17:00
2. 開催場所 : タウンプラザしまね 2階交流スペース(別図参照)
3. 主な内容 :
 - ①基調講演(筑波大学大学院 石田 東生 教授)
 - ②活動状況報告
 - ・日本風景街道
(人間文化の原風景、風待ち海道)
 - ・夢街道ルネサンス
(木綿街道、青石畳通り)
 - ③意見交換

(取材について)

当日は報道席を設けており、受付を通じてご入場いただけます。資料につきましては会場にて配布いたします。

【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所
島根県松江市西津田2丁目6番28号

副所長(改築) つねまつ ひろし 常松 宏 (内線204)

調査設計課長 かだ あつみ 加田 厚 (内線451)

電話 0852-26-2131 (代表) FAX 0852-22-9731
0852-60-1345 (調査設計課直通)

「ちゅうごく街道現地交流会 in 松江」議事次第

【1日目/12月20日(日)】

※場 所：タウンプラザしまね 2F

13:30 : 開会

13:30~13:40: 挨拶、紹介

13:40~14:20: 基調講演「日本風景街道・夢街道への期待(仮称)」

講師：筑波大学大学院教授 石田東生氏

⇒国内外の「みち」を舞台とした地域活動の動向、成功事例等を紹介いただいた上で、コミュニティの活性化・観光振興・地域活性化等の側面における風景街道、夢街道ルネサンスの持続性ある活動への可能性をご提示いただきます。

14:20~15:10: 活動報告(10分×4団体)

①風待ち海道～隠岐まるごとミュージアム～

②青石畳通り

③木綿街道

④人間文化の原風景～ご縁をつなぐ神仏の通ひ道～

⇒活動内容、組織体制、活動団体間における連携・交流の現状および課題、今後の計画等を報告。

15:10~15:25: 休憩

15:25~16:55: 意見交換

⇒各団体からの活動報告を踏まえ、各ルート・団体の成功ポイント、課題解決方法、活動の継続と活発化等について意見交換を行います。

① 地域ブランド力(誇り)向上に向けた取り組み、課題

② 知名度UPに向けた取り組み、課題

16:55~17:00: 閉会挨拶

会場等位置図





日本風景街道の概要

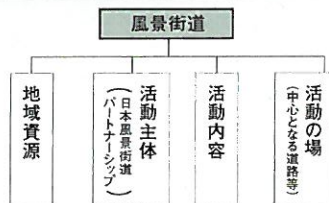
平成19年4月20日、日本風景街道戦略会議の委員長である奥田碩氏(日本経済団体連合会名誉会長)より、冬柴鐵三国土交通大臣(当時)に、「日本風景街道の実現に向けて 提言」が手交されました。



日本風景街道とは

日本風景街道とは、国土文化の復興に向けて、文化資源の保存や保護、活用だけでなく、美しい国土景観の形成、地域活性化や観光振興を有機的につなぐものであり、道を舞台に、多様な主体の協働により行われるものです。

また、日本風景街道は、「地域の資源」と「活動する人たち」、「活動内容」、「活動の場」から構成されるもので、それらを総称して「風景街道」と言います。



日本風景街道の活動内容

既に、中国地方各地で、地域固有の資源を活かし、蘇らせるための活動、美しい景観・風景を創出する活動(美しい景観を改善する活動)、来訪者をもてなし、楽しませるための活動など、様々な活動が行われています。

地域固有の資源を活かし、蘇らせるための活動



現地調査



古道・旧道発掘



ワークショップの開催

美しい景観・風景を創出する活動(美しい景観を改善する活動)

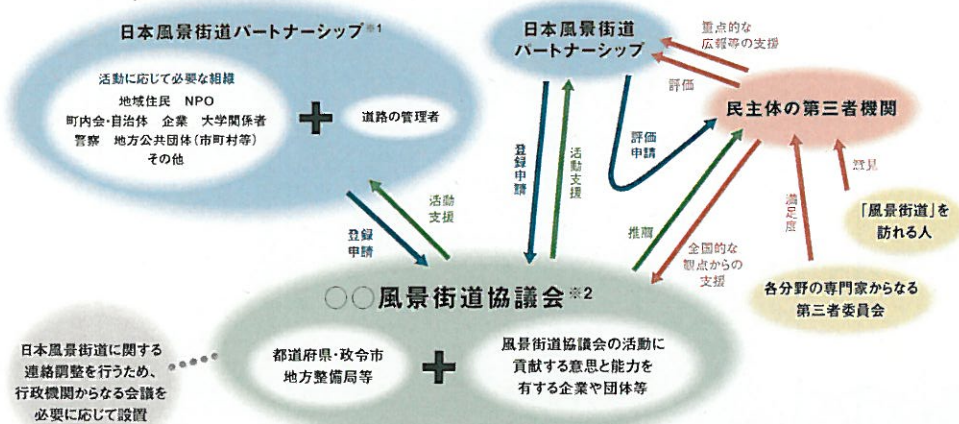


景観の改善



植栽・道路清掃活動

日本風景街道の仕組みの概要



※1 日本風景街道の活動主体であり、「風景街道」ごとに、「活動に応じて必要な組織(地域住民、NPO、町内会、自治会、企業、大学関係者、警察、地方公共団体(市町村等)）」と「道路管理者」で作られる。
 ※2 日本風景街道の登録受け付けなどを行う組織であり地方ブロック毎に行政、民間から構成される協議会

来訪者をもてなし、楽しませる活動



ガイド育成



案内看板の整備



ウォークイベントの開催



サイクリングイベントの開催



ビューポイントの整備



オープンカフェの設営



観光に寄与する情報発信

日本風景街道ちゅうごく

日本風景街道ちゅうごく登録地区



風待ち海道
隠岐まるごとミュージアム
鳥根県隠岐の島町・西ノ島町・海士町・知夫村



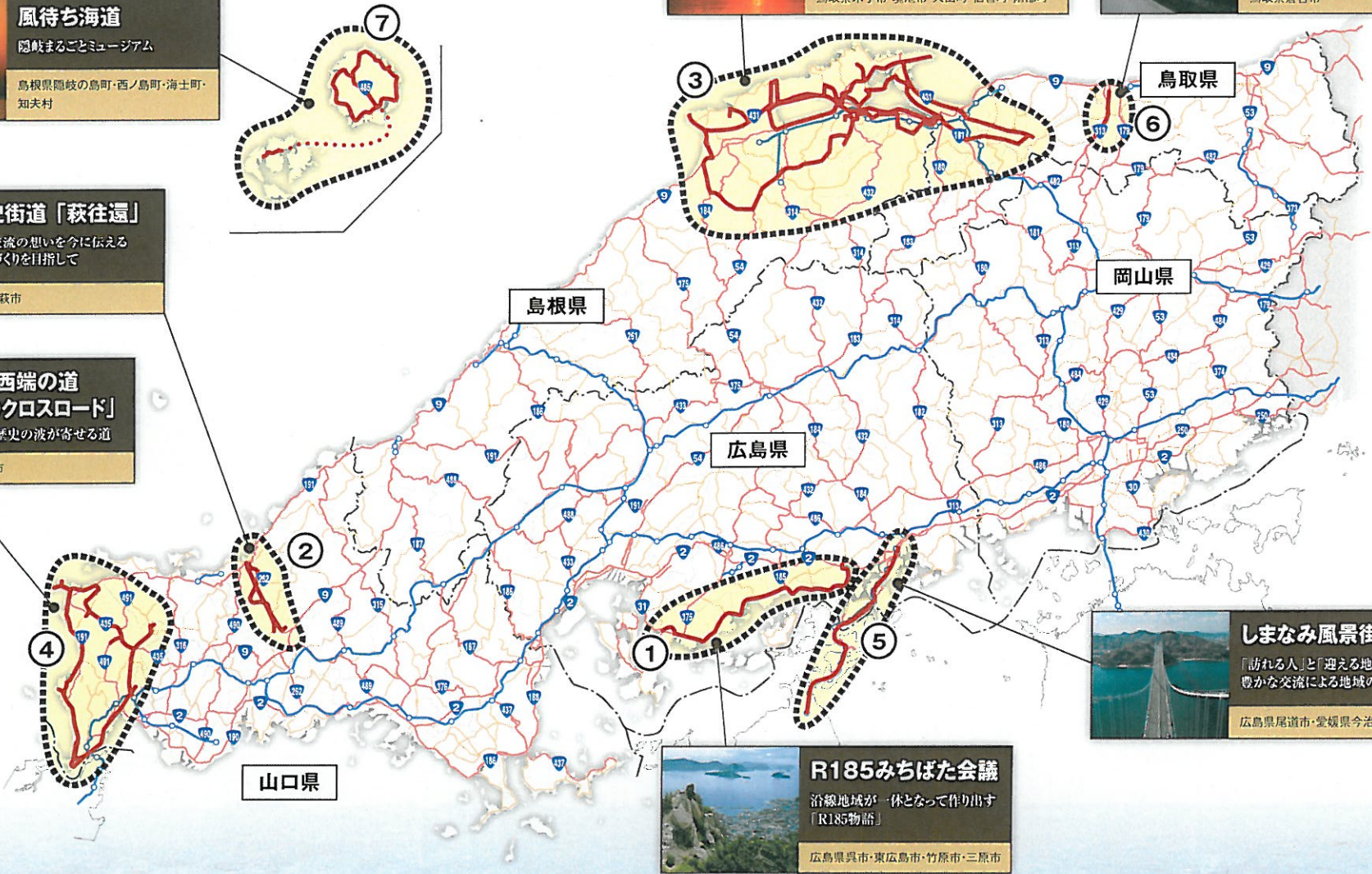

歴史街道「萩往還」
古の交流の想いを今に伝える
街道づくりを目指して
山口県萩市



**本州最西端の道
「風波のクロスロード」**
自然の風と歴史の波が寄せる道
山口県下関市

凡例

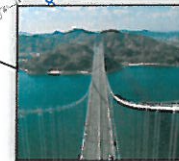
- 対象エリア
- 中心となる道路
- 高規格幹線道路
- 国道
- 県道等

人間文化の原風景
ご縁をつなぐ神仏の通ひ路
鳥根県松江市・出雲市・安来市・東出雲町・斐川町
鳥根県米子市・境港市・大山町・伯耆町・南部町



大山遠望歴史の道
ゆったりリズム体験・体感
鳥根県倉吉市



しまなみ風景街道
「訪れる人」と「迎える地域」の
豊かな交流による地域の活力向上
広島県尾道市・愛媛県今治市・上島町



R185みちばた会議
沿線地域が一体となって作り出す
「R185物語」
広島県呉市・東広島市・竹原市・三原市

歴史や文化を今に伝える 中国地方の街道

古来から「道」は、人と人・地域と地域の交流を促し暮らしや経済を育みつつ、時代の流れとともにその姿を変え発展してきました。

山陽は四国を含めた瀬戸内海地域の北岸として、山陰は中国・朝鮮からの文化の受け入れ拠点としてそれぞれ地域の個性を持ち、その陰陽間では、古くから歴史的・文化的・経済的な交流が中国山地を越えて盛んに行われてきました。網の目のように発達した「街道」は、まさにその交流の証といえます。現在でも当時の姿を昔ながらに残す「道」が随所にあり、過去の歴史や文化を今に伝えています。

歴史と文化が生み育んだ「街道」は、私たちに残された貴重な財産です。かつての街道や宿場などの街並みをたどりながら、時の流れに思いをめぐらせてみてはいかがでしょうか。

街道の紹介記事について
本紙においてご紹介している街道の記事は、認定番号1～17は広報誌「MichiMag」内の記事「夢街道を往く」、認定番号18、21は平成19年度、認定番号22～25は平成20年度、認定番号19、20は平成21年度取材により掲載。記事内の情報は、当時のものとなっておりますので、現在と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

夢街道ルネサンスの背景と目的

夢街道ルネサンスは、歴史や文化を今に伝える中国地方の街道を「夢街道ルネサンス認定地区」として認定しています。中国地方の豊かな歴史・文化・自然を生き、地域が主体となって個性ある地域づくりや連携・交流を進め、地域の活性化を図ります。地域づくりとともに、目的地に向かって移動するだけでない「楽しみながら巡る」新しい「街道文化」の創出を目指します。

コンセプト

新「街道文化」の創出

キョツチ
ルネス ～中国路 歩いて・感じて・伝えたい～

- 早く移動することを競う「通過型文化」から「楽しみながら巡る文化」へ
- 地域主体の活力ある地域づくりへ

対象は中国5県

5つの展開キーワード

歴史・文化・自然の活用

地域の歴史・文化・自然を活かした地域づくりを行います。

地域主体の個性ある地域づくり

地域や生活に誇りを持ち、その誇りを一層高めることを目指し、個性ある地域づくりを展開します。

連携と交流

複数の市町村が連携し、多様な交流による地域の活性化を図ります。

街道機能の継承と交流圏の拡大

昔の「街道」が暮らしを支え、地域独自の文化や伝統産業を育ててきたように、地域と道が一体となった発展を目指します。

地域情報の共有化と発信

地域の取り組みや魅力を発信し、地域の元気をアピールします。また地域づくりのノウハウ等を共有化し、地域づくりを支援します。

1 地域づくり支援

それぞれの地域の特徴に合わせて個性を活かした地域づくりを支援します。

交流・勉強の場づくり
地域づくりの相談窓口



2 「夢街道」形成支援

沿線を連携し活性化することで魅力的な夢街道の形成を支援します。

夢街道ルネサンス認定地区の拡大



3 広報支援

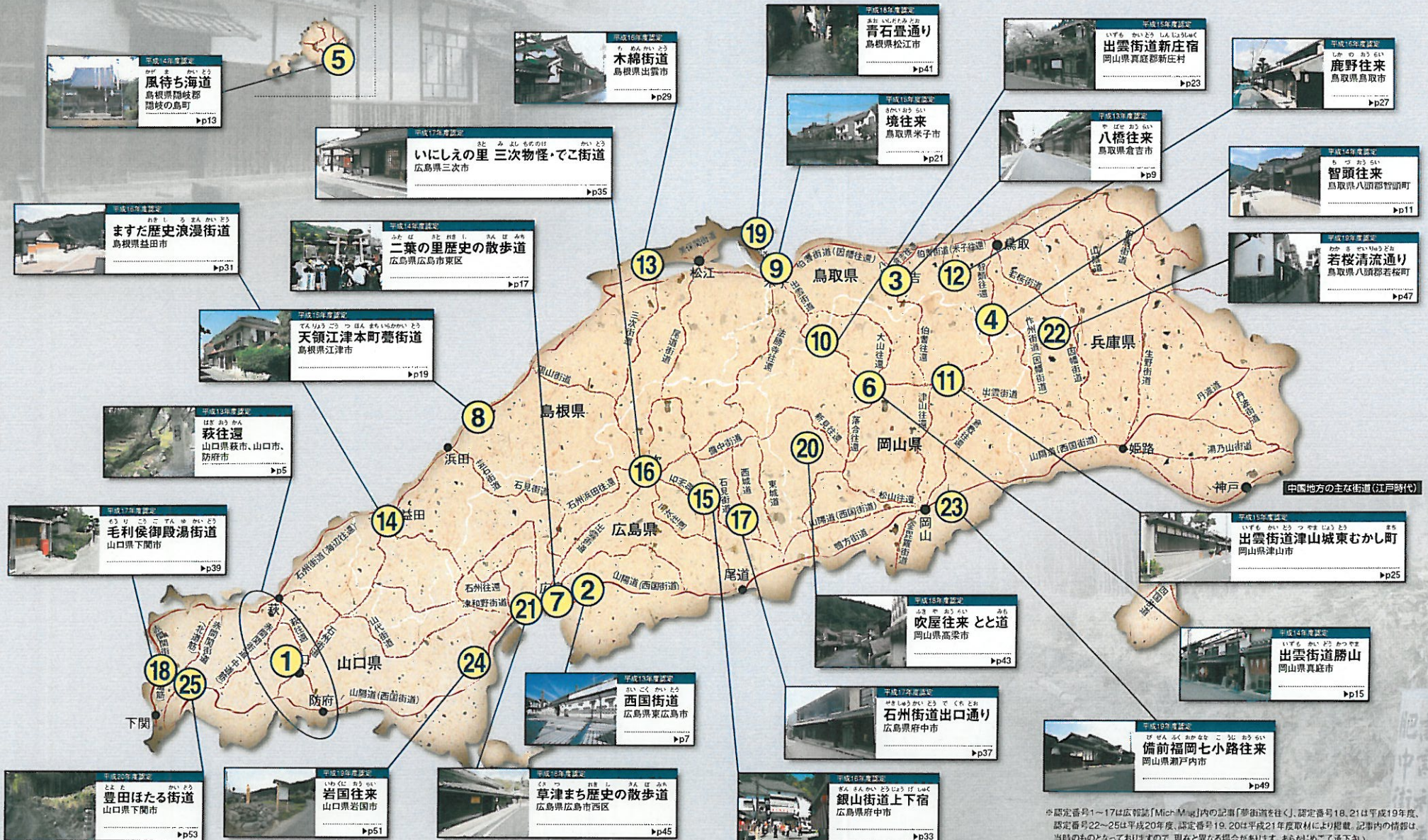
夢街道ルネサンスの取り組みをさまざまなメディアを活用し、幅広く情報発信しています。



3つの柱で支援

夢街道ルネサンス認定地区

平成13年度に創設した「夢街道認定制度」は、地域が主体となって地域づくりを展開しているように支援するものであり、現在、25か所が夢街道ルネサンス認定地区に選ばれています。



※認定番号1～17は広報誌「Michi-Mura」内の記事「夢街道を往く」、認定番号18、21は平成19年度、認定番号22～25は平成20年度、認定番号19、20は平成21年度取材により掲載。記事内の情報は、当時のものとなっております。現在と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。